

ASTAGE COLLEGE LIVE NEWS



REPORT ON LIVE LEARNING

ライブ学習レポート ナスコ株式会社（大阪市都島区）訪問記

秋晴れの10月19日(木)、『ナスコ株式会社(大阪市都島区)』に訪問してきました。地下鉄野江内代駅から徒歩10分。代表の中尾さんと社員の岡本さんが出迎えてくれました。



代表取締役 中尾英哲 氏

到着するとすぐに、中尾さんからとっても大事なお言葉を頂くことになりました。「(中尾)私が会社の代表になって、ナスコをどんな会社に育てていきたいか?って考えた時に、幾つかイメージしたその一つが、いつの日か会社見学に来てもらえるような会社になりたいという想いがありました。今日がその記念すべき第1回となりました!皆さん、良くお越しく下さいました!」見学させて頂いているこちらがお礼を伝える側なのに、開口一番に会社側からお礼を言われるなんて...と一瞬驚きましたが、参加者一同がとっても誇らしい気持ちになって、自然と拍手が生まれました(笑)。見学スタート直後に拍手が生まれるパターンは今回が初めてでした。この一幕で、ナスコの社風や中尾さんの人を大切にしている温かな人柄を感じ取ることができました。

続いて会社の説明です。ナスコ株式会社は、中尾さんのお爺さんが昭和25年に創業された会社で、創業当時は工業用ミシンなどの縫製用機器の製造販売を中心に事業を展開されてきたようです。時代の発展と共に縫製機器の販路が縮小してきたことを受けて、それまで培った非常に小さな部品を創り出す技術を応用した事業へと業態を発展させ、現在は、微細加工技術を活かした工業用治具などの製造を主な業務とされています。ご近所さんから椅子の修理を頼まれて、技術を活かして修理した...なんていうエピソードもあるそうです(笑)。



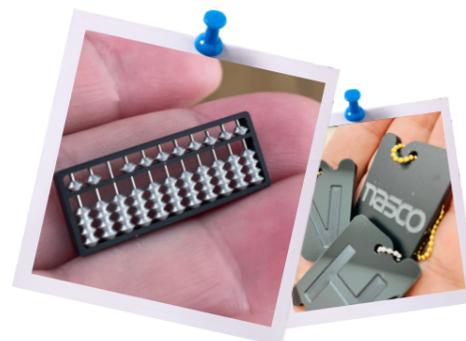
岡本さんの明るい笑顔に緊張がほどけます



中尾さんから髪の毛より細いドリルを見せてもらい、一同興味津々です(笑)



岡本さんに技術的な説明を受ける参加者



指先よりも小さなそろばんを作るナスコの技術力!! お土産まで頂きました(笑)

『NASCO 微細加工LABO』に入ると、中にはマシニングセンタと呼ばれる大きな工作機械が何台も稼働しています。この機械はドリルやエンドミルという工具を使用して多種多様な素材の部品を自動的に削り出す機械で、中には0.1mm以下という極細なものもあるそうです。髪の毛よりも細い工具を使用して削り出す微細加工の世界は、私たちの想像をはるかに超えていました!後で見せてもらったのですが、微細加工の粋を尽くした極小そろばん(写真右下)を見て、一同、驚きの表情でした。現場では岡本さんが実際に機械を使いながら工程や技法について説明をしてくれましたが、後でお土産として頂いたインシヤル入りキーホルダーが完成していく様子を見て「おぉー」と歓声が響きました!

見学後には中尾さんや岡本さんへの質問タイムです。

Q.ピンチや困難に出会った時の対処法は?

A.「(中尾)失敗を素直に認めて、ごまかさず、正直に言うことです。失敗したからと言って、そこで止まってしまうのは前に進まない。素直に正直に考え続けることが、その後の行動を決めるんですよ。」との回答を頂きました。

続いて、それを実感するエピソードが紹介されました。三重県にある薬品メーカーとの取引で、反応釜(寸胴鍋の様な形態のもの)を制作した時のことです。製作途中には現地まで行って確認作業を行ったようですが、いざ納品となった段階で、寸法や重さなどが合わず現場は大混乱となりました。中尾さんも「もらった図面通りにつくったのになあ...」との心の声が漏れたそうです。けれども困り果てたお客様の様子を見て、お客様の笑顔を大切に経営理念に立ち戻り、製品の作り直しを申し出ました。これは、百万円以上の損失を引き受けるといふ大きな決断でした。

その後は、そのお客様も協力を惜みず、使用中の鍋を貸し出すために、わざわざ三重から運んでくれたり、別の仕事まで発注してくれるなど、お互いがより深い信頼関係へと発展したそうです。



自分の経験や働き方、会社の在り方を説明する中尾さん(右)、岡本さん(左)



ステキな笑顔で記念撮影! 皆さん、お疲れさまでした~

Q. 仕事をしていて一番、困ったことは何ですか?
A.「(岡本)図面をもとにその通りに創ることは、割と簡単な作業なんです。むしろ、お客様の要望に沿ったものを新しく創り出す時が最も大変なんです。お客様にお話を伺って今までにないものをゼロから創る作業です。今までにないものを創り出すのだから、すごく大変だけれども、でも、それが楽しいし、創る喜びがあるんですよ。困難なことに出会ったとしても、まずやってみること。やってみないと進まない!」
Q. ストレス発散の方法を教えてください。
A.「(岡本)ランニングです!。ランニング中は苦しいしんどいしか考えられない。だから良いのかも知れないですね。仕事の疲れやストレスがあるのなら、仕事と全く違うことをする方が良いのではないのでしょうか。」
A.「(中尾)岡本さんの様に違う活動で発散するのも良いのですが、思考を変えて、仕事の中に楽しみを見出すということも大切です。例えば同じ製品を1000個作ると思ったら、作る方法をちょっと工夫して1個つくる時間を1秒減らす努力をしてみる。すると、全体で何分かって時間が短縮できるから、昨日100個しかできなかったことが、今日は1100個、明日は1200個って変わってくる。そういうた事を楽しみにして進めて行くことでストレスを感じないようにすることも大切です。」
見学終了後に参加者同士で意見交換を行いました。「2人とも優しくて働きやすそう!説明がわかりやすかった。」「経営理念の話が良かった!」「ミシンから微細加工に展開するチャレンジ精神が良かった。」と機械や工具・製品などのハード面に興味がかうかと思いきや、ソフト面に話題が集中。沢山の名言・金言に触れた見学会でしたが、中でも「とにかく何でもやってみる!」というチャレンジ精神が「(なんでも、(すべ、(こ)しらえる」というナスコの頭文字を取ったスローガンを作り、中尾さんや岡本さんに代表される『人間性や人間関係の良さ』が良い仕事を創り出す原動力であることを再確認することができた一日でした(了)